TAKE CARE OF TacaoF

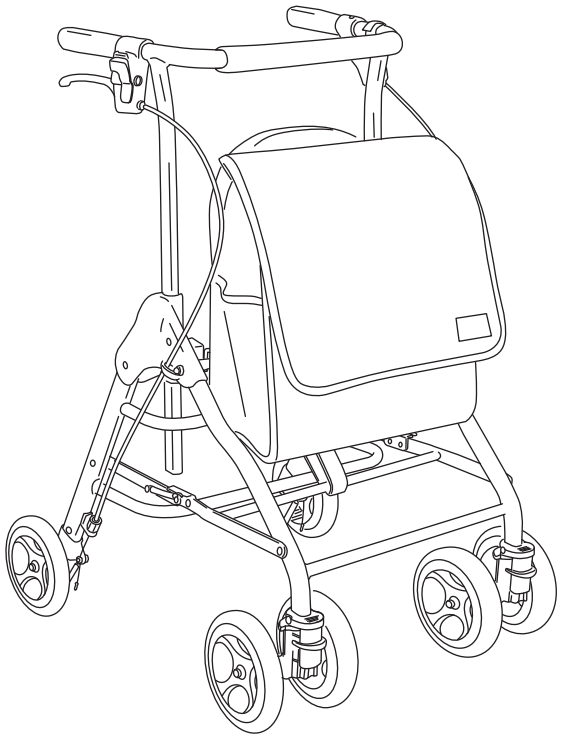
歩行車

品名 テイコブリトルハイ

品番 HS05H

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。



目 次

ご使用前の注意 …… 1P
ご使用上の注意 …… 1～2P
お手入れ方法 …… 2P
保管方法 …… 3P
各部の名称と製品仕様 …… 3P
車体の組み立て方・折りたたみ方 … 4P
グリップの使用方法 …… 4P
ブレーキの使用方法 …… 5P
座面の使用方法 …… 5P
杖立ての使用方法 …… 5P
ワン・ツー・スリー
キャスターの使用方法 …… 6P
ブレーキの調節方法 …… 6P

製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。

福祉用具総合メーカー
株式会社 幸和製作所
〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1
【カスタマーサポート】10時～17時（土・日・祝日を除く）
フリーコール 0120-508-058（フリーコール コーワ オーコーワ）
http://www.tacaof.co.jp

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用前の注意

⚠警告 下記の場所では絶対に使用しないでください。

●バス・電車の中やエスカレータ。　●雨・雪・凍結などで滑りやすい所。

⚠注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 組み立てる時は周囲に人がいないことを確認してください。
- 組み立て、折りたたみおよび調節は確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- 各部を点検し、特にハンドブレーキと駐車ブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されることを確認してください。
- ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。ブレーキシューが後輪内側に干渉する場合はブレーキの調節をしてください。(「ブレーキの調節方法」参照)
- ネジなどのゆるみがないこと、グリップが固定されていることを確認してください。
- 背もたれはかならず取り付けてご使用ください。
- タイヤおよびブレーキに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。
- ご使用の際は、かならずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 坂道・溝・段差のある所、砂・泥・水溜りのある所を通る場合は十分に注意してください。
- 交通量の多い所や混雑している所で使用する場合、また夜間に使用する場合は十分に注意してください。

ご使用上の注意

⚠警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき

- 背もたれなど、グリップ以外の場所を持って歩行しないでください。
- グリップを片手で操作しないでください。
- グリップに寄りかかったり、荷物を吊りさげたりしないでください。車体だけが動いたり、転倒することがあり危険です。
- ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。

⚠警告　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

座面に関して	● 座面に座る際は、かならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。 ● 立ち座りの際は、車体が動かないことを確認してからゆっくりと身体を動かしてください。 ● 最大使用者体重をかならず守ってください。
	● 分解・修理は弊社サービス員以外行わないでください。

⚠注意　誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき	● ハンドブレーキを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で歩行しないでください。 ● 車体から離れるときはかならず駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。 ● ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。 ● 坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえブレーキをかけても動く場合があり大変危険です。やむを得ない場合は動かないように十分に注意してください。 ● 踏切などの溝を越えるときは、前輪がはまらないように十分に注意して操作してください。 ● 座面に人を乗せたまま押さないでください。
座面に関して	● 坂道などの斜面では座らないでください。　●浅く座らないでください。 ● 背もたれに力をかけすぎると車体が動いてバランスがくずれるおそれがありますので注意してください。 ● 踏み台として使用しないでください。 ● 幼児、子供を座面上に立たせないでください。また操作させないでください。
袋に関して	● 袋に 5kg 以上の重さの荷物を入れないでください。 ● 袋に荷物を入れたままで折りたたまないでください。 ● 袋の中に乳幼児を乗せないでください。 ● 袋の中に貴重品を入れたまま車体から離れないでください。

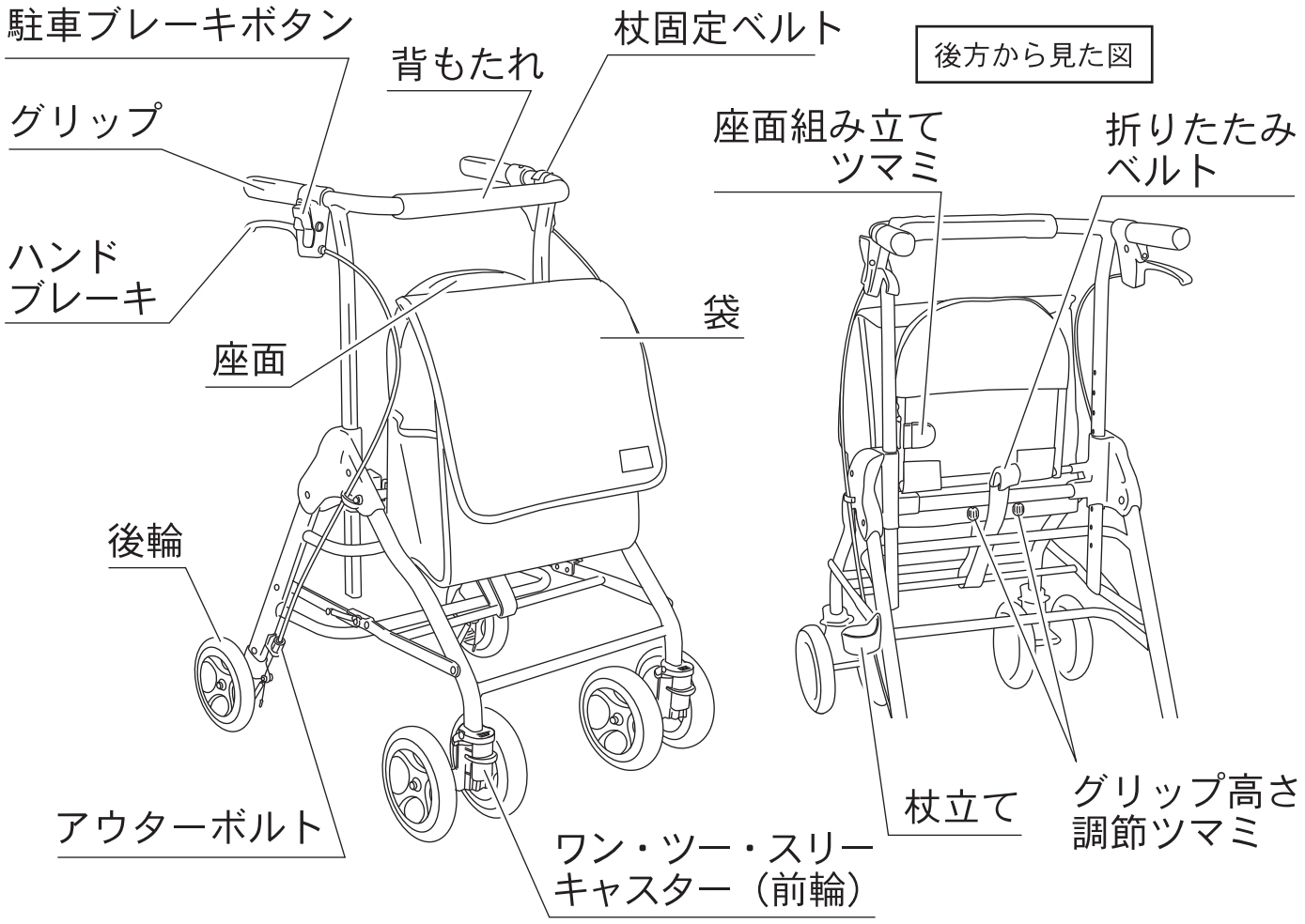
お手入れ方法

● 雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
● 袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
● 塩素系洗剤･シンナー･クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

保管方法

- 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。

各部の名称と製品仕様

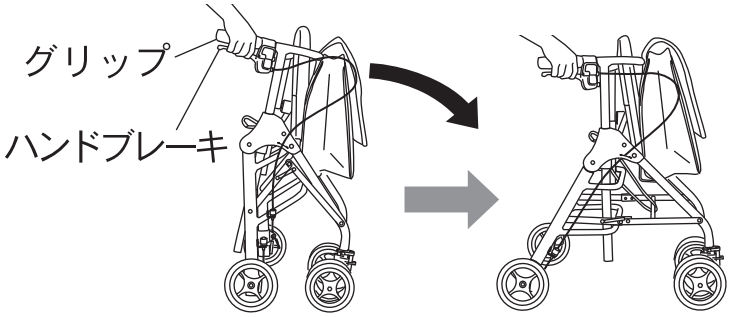


組み立て寸法	幅520×奥行625 ×高さ740～920 mm	重　　量	5.3 kg
		最大使用者体重	75 kg
折りたたみ寸法	幅520×奥行370×高さ815 mm	袋の積載荷重	5.0 kg
グリップ高さ	740～920 mm　7ポジション	本体材質	アルミ
座面高さ	500 mm	車輪材質	ポリプロピレン・EVA
座面寸法	幅280×奥行300 mm	座面材質	ナイロン
袋　寸　法	幅320×奥行160×高さ330 mm	袋　材　質	ポリエステル・ナイロン

※折りたたみ寸法、およびグリップ高さは参考数値です。

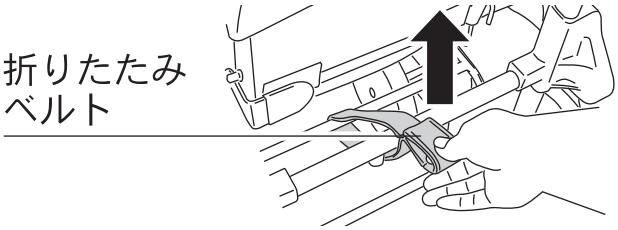
車体の組み立て方・折りたたみ方

【組み立て方】



グリップとハンドブレーキを一緒に握り、そのまま車体を前方へ押し出すように動かしてください。（※その際、体重をかけて車体に寄りかからないようにしてください。転倒のおそれがあり危険です。）

【折りたたみ方】

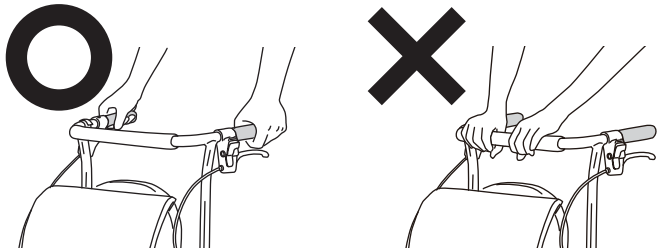


折りたたみベルトをまっすぐ上へ引きあげてください。

⚠注意
- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。

グリップの使用方法

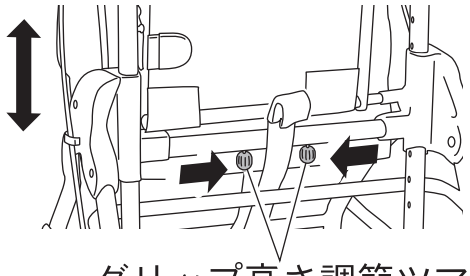
左右のグリップを握って、ゆっくり歩行してください。



⚠注意
- 背もたれなど、グリップ以外の部分を持って使用しないでください。
- 片手での操作はしないでください。バランスを崩し危険です。

【高さの調節方法】

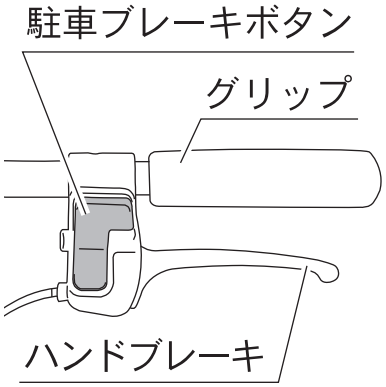
※車体を後方から見た図



グリップ高さ調節ツマミを内側に寄せて固定を解除してください。そのままグリップを上下させ、お好みの高さでツマミをはなしてください。ツマミが外側に開いて、グリップが固定されたことを確認してください。

⚠注意
- グリップ高さ調節ツマミが外側に開き、グリップが確実に固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

ブレーキの使用方法



■ハンドブレーキの使用方法

グリップを持ちながら、左右のハンドブレーキを同時に握ってください。解除する時は指を離してください。

■駐車ブレーキの使用方法

駐車ブレーキボタンを押すと、後輪が固定され駐車ブレーキがかかります。グリップとハンドブレーキを一緒に握ると解除されます。

⚠注意

- 駐車ブレーキを使用する際は、かならず左右両側の駐車ブレーキボタンを押してください。片側のみでは制動力が不十分で危険です。
- 座面に座るとき、車体から離れる時はかならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

座面の使用方法

1 駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。

2 座面を持ち、座面組み立てツマミを矢印方向へ引きながら、下へ倒してください。

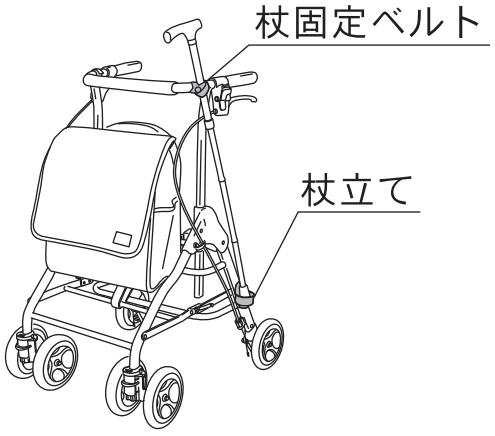
3 座面がしっかり固定されていることを確かめてから、中央に座ってください。

⚠注意

- 指などをはさまないように注意してください。

折りたたむときは座面を持ちあげ、バッグの裏側に押し付けるようにしたあと、そのまま座面が固定されていることを確認してください。

杖立ての使用方法



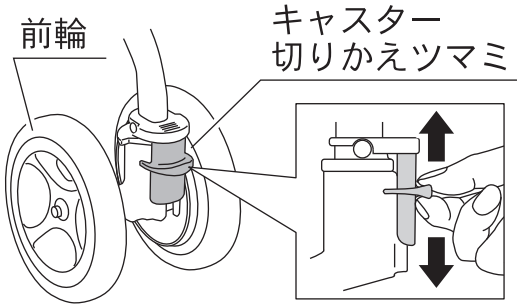
押し手に付いている杖固定ベルトで杖を固定し、杖立てで受けてください。

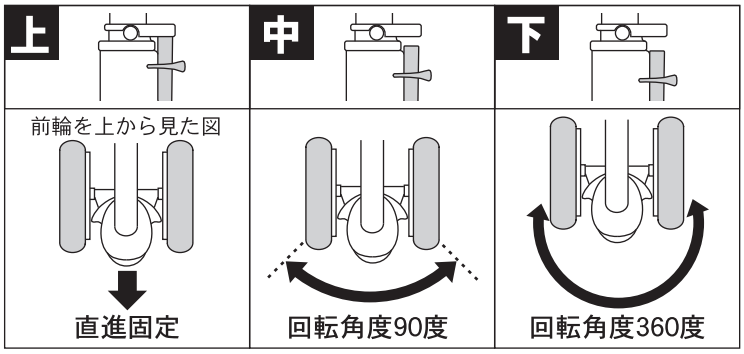
⚠注意

- 杖が確実に固定されていることを確認してください。ぐらつきがあると走行中にはずれることがあり危険です。

ワン・ツー・スリーキャスターの使用方法

前輪の動き方を、お好みに合わせて３段階に設定していただけます。キャスター切りかえツマミを上・中・下に動かしてください。（設定は、前輪をまっすぐ前に向けた状態で行ってください。）

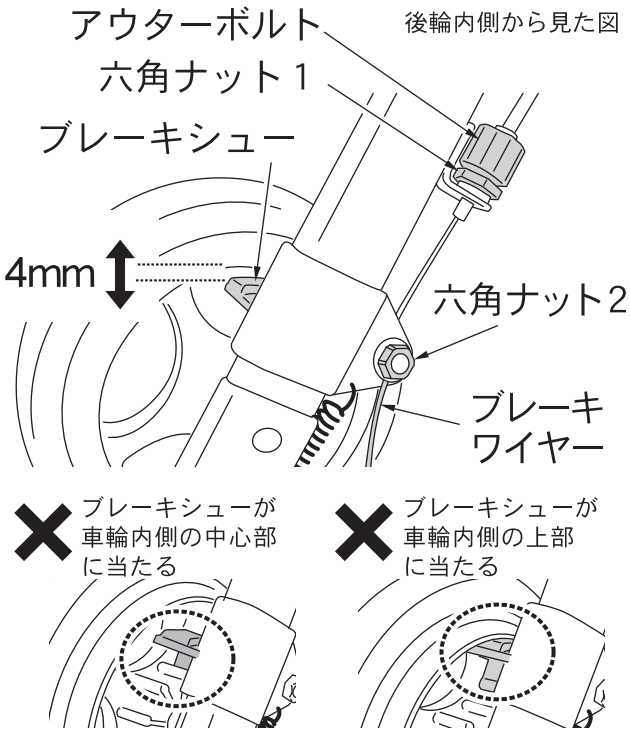




⚠注意
- 左右の前輪のキャスター切りかえツマミが同じ位置にあることをかならず確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

ブレーキの調節方法

ハンドブレーキの効き方に不都合があるときは、以下の手順で調節してください。
アウターボルトは左右にあります。必要に応じてそれぞれを調節してください。



1 駐車ブレーキを解除してください。

2 六角ナット１を反時計回りの方向へ回してゆるめてください。

3 アウターボルトを回して、車輪内側とブレーキシューのすき間を4mm に調節してください。

時計回り ⟶ すき間が広がる
反時計回り ⟶ すき間が狭まる

4 アウターボルトを押さえながら、六角ナット１を時計回りの方向へ回して締めてください。（六角ナット１を締める際アウターボルトが回ると、**3** で行った調節がずれてしまいます。）

■上記の手順でブレーキ調節ができない場合

六角ナット２を反時計回りの方向へ回してゆるめ、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っぱり、車輪内側とブレーキシューのすき間を4mmに調節してください。その後、六角ナット２を時計回りの方向へ回して締めてください。

※この調節方法は、アウターボルトでの調節ができない場合にのみ行ってください。
通常の微調節は、上段のアウターボルトでの調節方法で行ってください。

TAKE CARE OF TacaoF

http://www.tacaof.co.jp

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品を他の方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡しください。